

1.背景と目的

- ◆当該地は、市で施行した土地区画整理事業であることに鑑み、地内の擁壁の傾き等について、地権者の不安軽減を図り、安心・安全を確保するために、現地調査や専門家会議を行うもの。
- ◆具体的には、擁壁変状箇所の背面・基礎盛土の状況を確認するための地質調査を実施し、調査分析結果から得られた土質の物性値を用いることにより、現状及び将来的な擁壁の安全性評価を行うもの。

2.場所と経緯

- ◆熊本駅西土地区画整理事業区域内が対象地である。



図 1.対象箇所

【経緯】

- 平成23年3月 造成工事完了
- 平成23年9月 擁壁変状の申出
- 平成28年4月 熊本地震発生
- 平成28年5月 地震被害の申出
- 平成28年6月 調査実施
- 令和 2年8月 再度の申出

3.調査範囲及び箇所・調査方法について

- ◆事業区域内において、現地視察での当該地における地形特性の把握等を踏まえた上で、調査範囲を決定。
- ◆調査範囲のうち、特に平成28年熊本地震時の擁壁変状箇所において、調査箇所(13箇所)を決定。
- ◆擁壁変状箇所近傍において、現状の擁壁安全性評価を行うことを目的として、調査方法(分析含む)を決定。



写真 1.ボーリングイメージ



写真 2.室内土質試験イメージ

4.専門家会議委員構成

- ◆委員構成は、地盤工学や法律の専門家である学識者など 6 名で構成。

表 1.委員構成一覧表

職種	専門分野	団体名	氏名
学識者（工学）	防災・地盤工学	熊本大学 名誉教授	北園 芳人：会長
学識者（工学）	環境地盤工学	熊本大学 教授	松本 俊文
地盤関係専門団体（工学）	地盤工学	地盤品質判定士会	田上 裕
建設コンサルタント（工学）	構造力学	建設コンサルタンツ協会九州支部 技術部会 品質向上委員会	比叡 弘樹
学識者（法学）	行政法	熊本大学 准教授	原島 良成
弁護士（法学）	行政法・民法	熊本県弁護士会 渡辺綜合法律事務所	渡辺 絵美：副会長

5.専門家会議審議フロー

- ◆会議では、現地の地質調査の場所、調査方法、検証手法、調査結果の評価等を審議していく予定である。

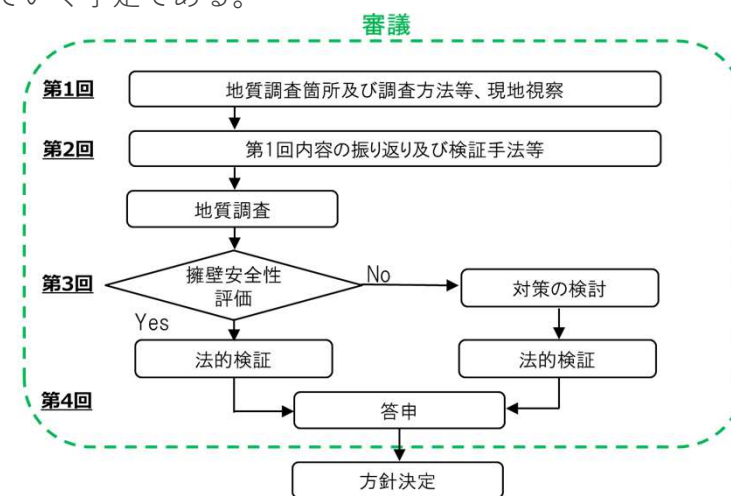


図 2.審議フロー

6.今後のスケジュール

- ◆第1回会議は、7月30日14時より、くまもと森都心プラザにて開催済。
- ◆会議は非公開として進めていく予定。なお、結果については公表していく予定。

表 2.工程表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門家会議				● 第1回専門家会議			● 第2回専門家会議			● 第3回専門家会議		● 第4回専門家会議
調査						● 契約	● ボーリング調査	● 分析	● 取りまとめ			